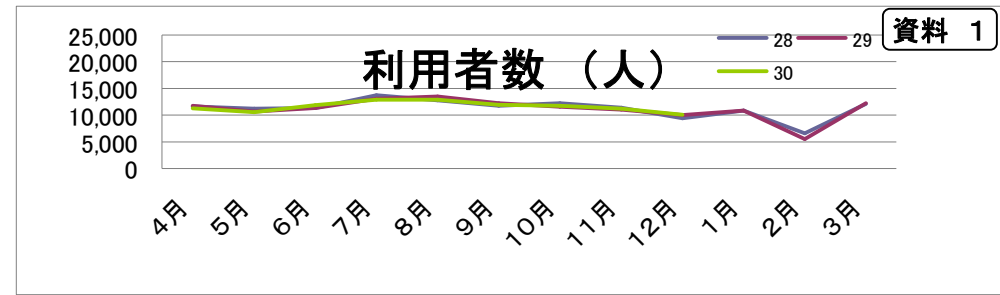
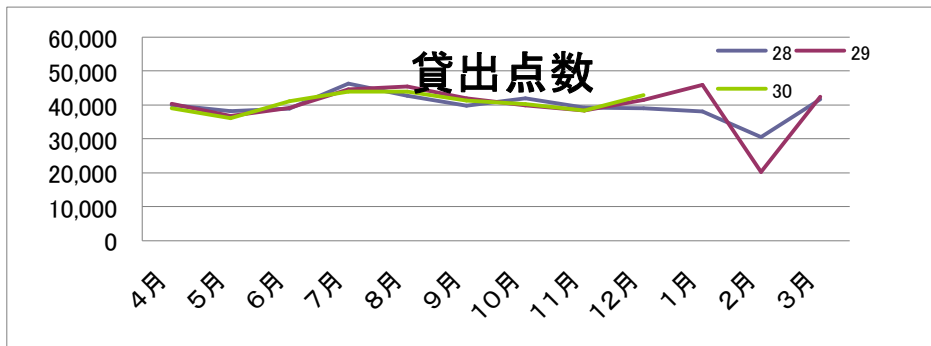


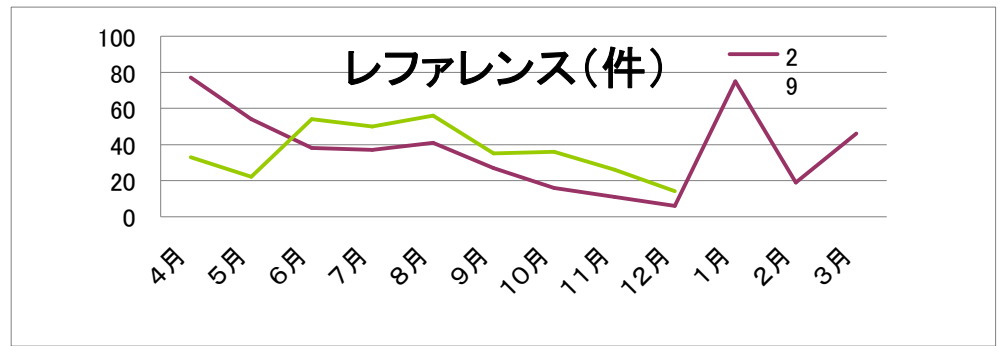
平成28年度平均と比較して4%、29年度同時期と比較して3%減少している。



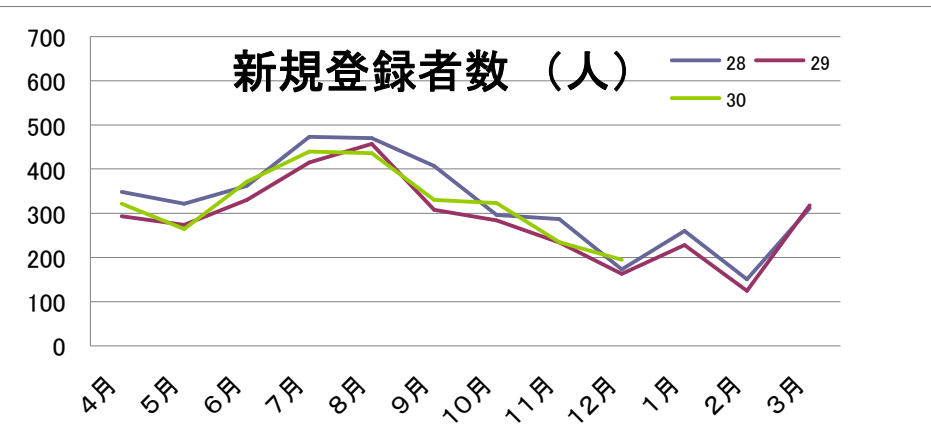
平成28年度平均と比較して同値、29年度と比較して1%減少している。



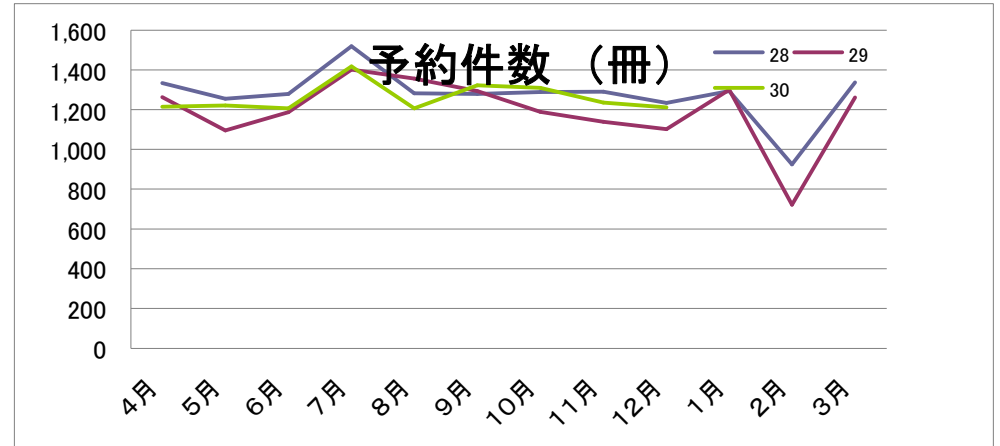
平成28年度平均と比較して8%減少、29年度同時期とは同値である。



平成29年度同時期と比較して、6%増加している。



平成28年度平均と比較して7%減少、29年度同時期と比較して6%増加している。



平成28年度平均と比較して6%減少、29年度同時期と比較して3%増加している。

利用状況

H30. 4. 1~H30. 12. 31

	H30年度													H29年度		増減率	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	一日平均	合計		一日平均
開館日数	25	25	25	25	26	25	25	25	22				223		223		
蔵書購入冊数	1,171	953	747	881	710	728	1,011	1,354	742				8,297		5,616		
入館者数	25,957	27,676	28,861	31,492	33,888	27,633	28,826	27,171	21,869				253,373	1,136	261,290	1,172	97%
うち5時以降入館者数	2,013	2,281	2,490	2,554	3,334	1,845	2,270	2,142	1,582				20,511	92	19,977	90	103%
貸出利用者数	11,270	10,573	11,885	12,842	12,841	11,966	11,737	11,179	10,079				104,372	468	105,003	471	99%
貸出点数	図書資料	36,346	33,549	38,163	41,026	41,119	38,492	37,607	35,671	40,121			342,094	1,534	342,154	1,534	100%
	A/V資料	555	554	639	665	671	569	546	580	532			5,311	24	6,389	29	83%
	紙芝居	467	460	635	641	519	556	539	632	650			5,099	23	4,616	21	110%
	雑誌	1,584	1,481	1,588	1,528	1,534	1,585	1,550	1,431	1,529			13,810	62	14,502	65	95%
	合計	38,952	36,044	41,025	43,860	43,843	41,202	40,242	38,314	42,832			366,314	1,643	367,661	1,649	100%
新規登録者数	322	265	372	440	436	330	323	235	195			2,918	13	2,758	12	106%	
予約件数(個人)	1,215	1,220	1,206	1,417	1,206	1,322	1,310	1,236	1,212			11,344	51	11,023	49	103%	
A/Vブース	123	93	137	206	324	184	184	78	68			1,397	6	1,432	6	98%	
A/Vルーム	9	9	14	14	11	13	14	13	7			104		137			
ギャラリー	0	7	0	15	7	14	23	16	22			104		77			
レファレンス	33	22	54	50	56	35	36	26	14			326	1	307	1	106%	
学習室(17時時点)	136	269	240	297	496	149	306	365	189			2,447	11	1,170			

長久手高校図書委員POP展

- 1 目的 第2次長久手市子ども読書活動推進計画に基づき、中高生世代の読書環境づくりにより、読書活動の推進を図る。(計画書：基本目標2－重点施策1－取組2)
- 2 展示期間 平成30年11月28日(水)から平成31年2月3日(日)まで
(休館日を除く)
- 3 展示場所 長久手市中央図書館 1階 棚27番 展示棚
- 4 内容 中央図書館と長久手高校とのコラボ企画として、同校の図書委員、1、2年生による手作りの本のPOP展示と本を中央図書館で並べた。合わせて長久手高校で人気のある本と中央図書館の中高生向棚でよく読まれている本も並べた。
当初並べた本は、開始数日でほぼ貸出中となったため、同校1年生「現代国語」の授業の一環で作成された本のPOP入選作品と該当図書を追加展示した。



中学生美術展

1 目的

市立中学校の生徒が制作した絵画等の作品をギャラリーに展示することで、学習成果の発表の場を提供し、生徒の健全育成に資する。また、市民が美術作品を鑑賞する場を設け、図書館に親しんでもらう機会の一つとする。

2 主催

長久手市中央図書館

3 展示日時・場所

平成30年12月6日（木）～平成30年12月19日（水）

中央図書館 2階 ギャラリースペース

4 監修者

長久手中学校 足立 昌則 教諭（美術担当）

南中学校 高村 渉 教諭（美術担当）

北中学校 内海 晃一 教諭（美術担当）

5 概要

(1) 出品者

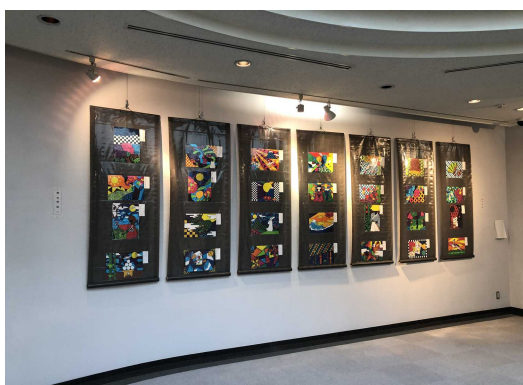
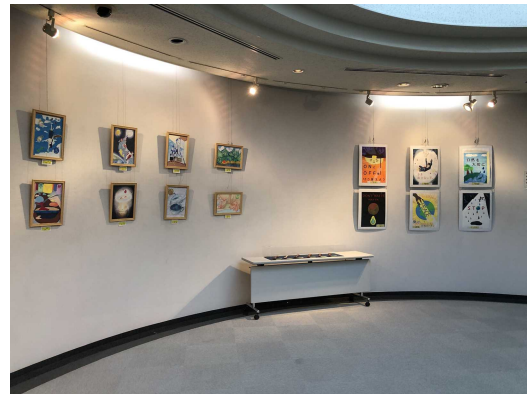
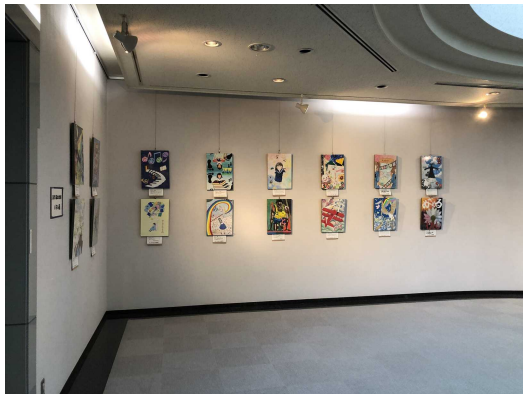
長久手中学校、南中学校、北中学校の生徒

(2) 作品数

各中学校の優秀作品 計64点

(3) 芳名録記帳者数

25名



現代美術展 ビブリオテカ・アルテ

目的

図書館の中のギャラリーという特徴あるスペースを活用し、生涯学習の一環として芸術鑑賞の場を設け、教養を高めるとともに図書館に親しむ機会を提供する。

1 会期

平成 30 年 11 月 10 日（土）～平成 30 年 11 月 25 日（日）

2 場所

長久手市中央図書館 2 階 ギャラリースペース

3 監修者

愛知県立芸術大学 美術学部 油画専攻講師 守本奈央

4 出品者

浅沼香織 始め 12 名（愛知県立芸術大学教職員及び学生）

5 芳名録記帳者数

68 名

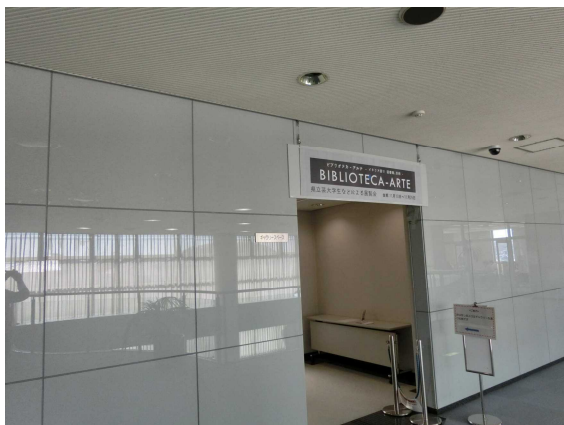
6 出品作品

「Window niche #1」はじめ 19 点

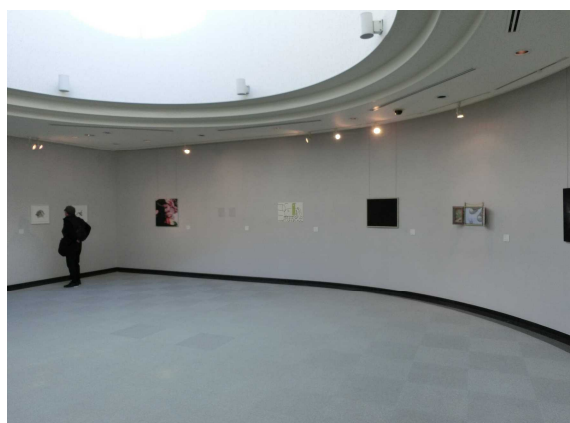
7 会場写真

下のとおり

<会場入口>



<展示作品>



平成30年度 中央図書館 事業進捗状況管理表

資料 5

事業名	課題	目標	実施項目	12月末総括	年間スケジュール											
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 児童館図書室での貸出事業	・貸出状況が把握されていない。 ・司書による定期的なメンテナンスが必要	・貸出状況調査の実施 ・長久手南児童館をモデル館とし、年間貸出数400冊(平成29年度約360冊) 【第2次子ども読書活動推進計画基本目標Ⅱ-2-(2)】	1.団体貸出本の入替え、対象年齢別に本を棚に配置。 2.図書室の貸出冊数を記録。	【検証】 児童館全6館のうち、団体貸出を実施している5館については、団体貸出図書の継続的入替え(各200冊)を2館で完了。今年度中に、さらに1館の入替えと、新規で1館の団体貸出を予定している。 団体貸出を実施している5館について、現場に行きメンテナンスを実施した。 貸出数の把握は、図書室利用状況の目安となるため、全児童館で継続調査していく。 【成果】 今年度、貸出冊数を記録する態勢を整えた結果、モデル館である南児童館の年間貸出冊数が、12月末で406冊に達したことがわかり、目標値を上回ることができた。これは定期的に児童館図書室のメンテナンスを実施したことや、団体貸出の本を入れ替えたことで図書室の本棚の鮮度が保たれたことが、数値に反映したとも言える。 【今後の課題】 図書室利用児童の状態把握方法	南児 選書協議、南児団体貸出入替、下山児選選書協議、団体貸出入替 集計と検証(毎月) 31冊(18冊)、53冊(23冊)、29冊(14冊)、30冊(23冊)、49冊(28冊)、41冊(20冊)、41冊(16冊)、54冊(20冊) 37冊(23冊)←全数(うち中央図書館からの本) 南児童館との作業内容協議 青少年児童センター現地調査											
2 中高生向け特化棚づくり事業	中高生向けの棚の利用冊数が少ない	中高生向けの棚の貸出冊数年間6,200冊	1.新着図書リストを2ヶ月ごとに作成、掲示。 2.図書館ホームページ内の該当ページを2ヶ月ごとに更新。 3.中学校図書館での情報掲示。 4.市内の2高校の図書館便りを2ヶ月に1度掲示更新	【検証】 毎週出版される新刊書の中から中高生に適した本を司書が選書し、中高生向け棚の蔵書構成を定期的に入れ替えた。 また、上記の新着図書はリスト化をめぐし、当初は2ヶ月ごとに、年度後半は毎月作成・掲示した。図書館ホームページの中高生向けページは、内容を整理して見やすくし、当初は2ヶ月ごとに、年度後半は毎月更新した。 このほか市内の2高校と連携を始め、高校の図書館便りを2ヶ月に1度掲示更新している。特に、11月末からは新たに長久手高校図書委員が作成した本のPOPを展示するコラボ企画を実施した。 【成果】 12月末時点では4,692冊で、年間目標値の76%に達している。また比例換算した12月の目標値4,650冊を超えている。 【今後の課題】 現在配分できる中高生向け担当司書は一人であるため、担当者を増やし、図書知識の共有化と連携事業の継続化が必要。	中高生向き新着図書リストの作成、掲示 図書館ホームページ内の該当ページを更新 中学校図書館での情報掲示 長久手高校とのコラボ企画(POP展) 高校の図書館便りを掲示											
3 不明化対策事業	不明本が発生している	年間の不明本冊数減らす。(前年度209冊、目標150冊)	1.不明化傾向分析に基づく本の配置換え。 2.本にマーキング(館所蔵を表示) 3.職員の巡回による抑止力強化 4.返却場所不明本用の小型書架の増設(3台) 5.防犯カメラ等の表示貼替え	【検証】 今年度の対策として、職員のカウンターシフト交代時の閲覧室巡回、夏休み期間中にシルバー人材センター委託事業で館内の巡回、館内の貼紙表示替え等で抑止力を強化した。 また、返却場所が分からなくなってしまった利用者が誤った場所に返却しないようにするために、新たに返却場所不明用の専用書架(ブックトラック)を3台設置し誤返却を防止した。 【成果】 目標値の基準は、毎年2月に行う蔵書点検の棚卸し結果であるため、現時点では対比できないが、定例教委に報告している方式で昨年同時期の値と比較すると、昨年51冊に対して今年24冊であり53%の減少。 【今後の課題】 今後も引き続きアナログ的手法で視覚的に利用者へ訴えかける方法を続けていくが、盗難防止ゲートも含めたIC機器類の導入が大きな焦点となる。	不明化傾向分析に基づく本の配置換え、本にマーキング(館所蔵を表示) 職員等による閲覧室巡回 返却場所不明本用の小型書架の配置 防犯カメラ等の表示貼替え 黄ばみ等の点検、位置の変更など 集計と検証(毎月) 3冊、12冊、5冊、3冊、6冊、6冊、3冊、7冊、6冊、2冊、3冊、3冊 4冊、1冊、2冊、2冊、5冊、2冊、2冊、2冊、4冊											

事業名	課題	目標	実施項目	12月末総括	年間スケジュール											
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4	延滞対策事業	延滞本が発生している	月次集計時点での延滞冊数を500冊以内とする。	<p>1.15日以上の延滞者に督促はがきを毎週郵送</p> <p>2.長期延滞者宛のはがきは色を変更</p> <p>3.延滞者への注意喚起カラーカードを作成し、窓口で渡す</p>	<p>【検証】</p> <p>①H30年度から督促はがきの郵送サイクルを30日から15日に短縮し頻度を上げたこと、</p> <p>②30日以上延滞者へのはがきの色を黄色にして注意喚起性を高めたこと、</p> <p>③長期延滞者に定期的に返却・弁償要請の電話連絡を行ったこと等々が減少の要因と考えられる。また、窓口カウンターで延滞が判明した際に利用者に渡す注意喚起カードの書式を定め、カウンターに常備、使用したことも減少要因にあげられる。</p> <p>【成果】</p> <p>「月次集計時点での延滞冊数を500冊以内とする。」とした目標については、5月以降、毎月500冊を下回っている。前年と比べ現時点で平均40%の減少。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>延滞者の傾向等の分析。</p>	<p>前年値(対象日数30日以上)</p> <p>442 442 442 442 442 442 442 442 442 442 442 442</p> <p>626冊 593 443 532 576 635 608 538 516 442 830 373</p> <p>668冊 482 388 256 298 266 309 224 203</p> <p>貸出冊数に対する延滞冊数の割合</p> <p>1.7% 1.3 0.9 0.5 0.6 0.6 0.7 0.5 0.4</p> <p>延滞者への注意喚起カード手渡し</p>	<p>4月</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>8月</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p> <p>1月</p> <p>2月</p> <p>3月</p>									
5	学校図書館の貸出事業	子どもが毎日通う学校の図書館で貸出を増やす必要がある	<p>年間貸出冊数 小学校151,000冊(H29 147,601冊) 中学校8,900冊(H29 7,096冊)</p> <p>【第2次子ども読書活動推進計画基本目標 I-5-(3)】</p>	<p>学校連携司書による取り組み</p> <p>◎読書の楽しさ伝授</p> <p>・読み聞かせ</p> <p>・ブックトーク</p> <p>◎興味や関心に応じた本の紹介</p> <p>・子どもの読書相談に応談</p>	<p>【検証】</p> <p>学校連携司書が、授業で「読み聞かせ」や「ブックトーク」の手法を用いて児童生徒に直接的に働きかけたり、読書相談に応じたりした。また、知見を生かした選書や書架づくりで学校図書館の魅力向上に取り組んだりした。これらが成果として現れた。</p> <p>【成果】</p> <p>12月末までの貸出冊数が、小学校115,103冊(目標値の76%)、中学校10,603冊(目標値の達成)であり、学校司書の生徒への取り組みが貸出数に反映された。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>読書に関心のない子どもへの働きかけ。</p> <p>【参考値】</p> <p>1学期での貸出冊数 2学期 12月末の累計 小学校57,353冊 57,750冊 115,103冊 中学校 6,694冊 3,909冊 10,603冊</p>	<p>学校での読み聞かせ・ブックトーク</p> <p>小5校 小全校 小全校 小4校 小4校 小全校 小3校 小全校 中1校 中全校 中全校 中2校 中全校 中1校 中全校</p> <p>レファレンス相談</p> <p>5件 5件 12件 8件 36件 38件 23件 18件</p> <p>子どもの読書相談に応談(常時)</p>	<p>4月</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>8月</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p> <p>1月</p> <p>2月</p> <p>3月</p>									

達成度 目標達成…○ 達成見込みあり…△ 未達成…×

基本目標	重点施策	取組	新規取組	内容	指標	平成30年度 目標値	実績(H30.12月末)	達成度	評価内容
1 家庭・地域・学校などにおける子どもの読書活動の推進	1 家庭や地域での子どもの読書活動の推進	1 乳幼児期からの読書活動の支援		乳幼児期に初めて本と出会うきっかけをつくるため、赤ちゃんと保護者が絵本を通して触れ合う「ブックスタート」などの事業を行います。	ブックスタートバック配付人数(年間)	424人	291人	×	目標値の69%の人数である。
		2 家庭読書の支援	○	家庭での読書の機会を増やすため、年齢に応じた本の情報を提供し、本に親しみやすくします。	年齢別ブックリスト作成	小学生向け作成	実施済	○	図書館内の児童書架で専用コーナーを設置し配布することができた。
		3 地域の読書活動の支援		ボランティアが地域での活動の際に必要な本をボランティア団体へ貸出し、地域の読書活動を支援します。	ボランティア団体への団体貸出(年間)	1,800冊	1,278冊	△	計画どおり遂行している。(71% 55団体)
	2 中央図書館(家庭・地域)における子どもの読書活動の推進	1 良質な図書の収集		専門的視点で司書が選定した良質な図書の収集を継続します。	中央図書館の小学生までの貸出冊数(年間)	137,000冊	101,129冊	△	計画どおり遂行している。(74%)
		2 声かけレファレンス	○	本をさがしている子ども(保護者含む)に司書から主体的に声をかけ、児童書のレファレンスサービスを強化します。	学校連携司書が中央図書館で実施するレファレンス件数(年間)	80件	75件	△	計画どおり遂行している。(94%)
		3 中央図書館がより身近な存在となる事業の企画		子どもたちの関心やニーズに合わせた本のテーマ展示や飾り付けなどの雰囲気作りをすることで、本への興味を促し、中央図書館がより身近な存在となるように努めます。	テーマ展示回数(年間)	14回	14回	○	目標達成(100%) (写真①)
		4 図書ボランティアとの協働		読み聞かせや本の修理などの図書ボランティアを募集・育成・増員し、連携します。	ボランティア登録者数(年間)	84人	84人	○	目標達成 (100%)
		5 児童書の魅力を保護者へ伝えるための企画を実施		おはなし会の開催日数を増やし、図書館講座を始めとしたイベント等を企画します。	イベント等の実施回数(年間)	75回	55回	△	計画どおり遂行している。(73%)
	3 児童館(地域)などにおける子どもの読書活動の推進	1 中央図書館からの図書貸出		中央図書館から児童館に団体貸出(児童館)をすることで、良質な本を提供し、読書のきっかけづくりをします。団体貸出未実施の長久手西児童館、長久手市青少年児童センターへの提供を開始します。	児童館への団体貸出(児童館)(全6館)	長久手西児童館のリニューアル、団体貸出開始	実施済	○	実施できた。(写真②)
		2 ボランティアによる読み聞かせ	○	読み聞かせに適した絵本を提供し、ボランティアによる児童館での読み聞かせをする体制を整えます。	児童館での読み聞かせをした館(全6館)	ボランティア育成の方法、しくみについて担当課と協議する。	未実施	×	12月にボランティア交流会を開催し、ボランティアの意見を把握した。
	4 保育園・幼稚園(地域)における子どもの読書活動の推進	1 保護者などに読書活動の大切さを周知	○	家庭における乳幼児期からの読み聞かせの意義を保護者を始めとする大人が理解し、親子で絵本に親しむため、園児対象の年齢別のブックリストを配置します。	園児対象のブックリスト配置(全19園)	1園で各1冊 乳幼児向けリストを配布	実施	○	1月に配布済、0歳児に対しても配布した。
		2 読書と遊びを結びつけた取組	○	園での読み聞かせに、カルタなどのことば遊びの要素を入れた取り組みを充実させ、ふれ合いの中で楽しい体験ができるように支援します。また、中央図書館からの団体貸出によって、読み聞かせに適した絵本を増やします。	園職員へ選書のためのレファレンス実施(全19園)	2園	未実施	×	モデル園を1園設けることを決め、長湫東保育園に決定した。
	5 学校における子どもの読書活動の推進	1 学校連携司書の派遣		中央図書館から小中学校へ学校連携司書を派遣し、司書教諭と協働して学校図書館を活性化させ、利用を促します。学校連携司書の「1校につき1人の配置」を目指します。	学校連携司書の配置人数	1人増員の予算要求事務	H31年度予算要求している。	○	査定待ち
		2 学校連携司書による調べ学習の補助		学校連携司書が教職員と連携し、調べ学習のための本を中央図書館の蔵書から選定し提供することで、子どもの学習と教職員の授業を支援します。	年間の調べ学習用等の貸出冊数(小学校)	2,800冊	2,062冊	△	計画どおり遂行している。(74%)
					年間の調べ学習用等の貸出冊数(中学校)	160冊	78冊	×	計画の49%の冊数である。学校からの依頼が少なかったこと、必要な本が学校間のやりとりで対応できたことが背景として考えられる。
		3 学校連携司書による読書案内		学校連携司書が、読み聞かせやブックトークなどで、読書の楽しさを伝えます。また、子どもの読書相談に応じ、興味や関心のある本を紹介します。さらに、学校のボランティアと協力し、朝読書や読み聞かせを実施し、学校図書館の貸出冊数の増加を図ります。	年間の学校図書館の貸出冊数(小学校)	151,000冊	115,103冊	△	計画どおり遂行している。(76%)
					年間の学校図書館の貸出冊数(中学校)	8,900冊	10,603冊	○	目標達成 (120%)
	4 学校連携司書による企画展示		学校連携司書が、学校図書館でテーマ展示などの企画展示をすることで、読書への興味を高めるきっかけづくりをします。	1校あたりの年間のテーマ展示回数(小学校)	小学校5回	11回	○	目標達成 (220%)	
				1校あたりの年間のテーマ展示回数(中学校)	中学校1回	5回	○	目標達成 (500%)	

基本目標1 家庭・地域・学校などにおける子どもの読書活動の推進の達成割合 ○:目標達成…9個(47%) △:達成見込みあり…6個(32%) ×:未達成…4個(21%)

基本目標	重点施策	取組	新規取組	内容	指標	平成30年度 目標値	実績(H30.12月末)	達成度	評価内容	
2 子どもの読書環境の整備・充実 (本の見やすさ、対象別に強化)	1 中央図書館のサービスの充実	1 子どもの発達段階に応じた読書環境づくり		対象年齢に応じた本の整備を図り、子どもが自ら本を選ぶ楽しさを実感できる棚や、くつろいだ雰囲気的空間づくりをするため、児童書コーナー全体を定期的に点検、調整します。	中央図書館の児童書コーナーの点検・調整(年間)	2回	4回	○	目標達成 (200%)	
		2 中高生向けの図書の充実、読書環境づくり		中高生向けの本を収集し、この世代用に特化した書棚をつくります。	中高生向け専用棚の図書貸出冊数(年間)	6,200冊	4,725冊	△	計画どおり遂行している。(76% 写真③)	
		3 ホームページを通じた情報発信	○	ホームページで、本の紹介を始め、各種イベントの開催などの情報提供に努めます。また、子ども向けページの充実を図ります。	年齢別の推薦本紹介ページの開設	小学生向け作成	着手(12月)	△	小学生向けの推薦本図書100冊の準備に着手。	
		4 障がいのある子どもへのサービス	○	点字絵本やさわる絵本などを収集し、障がいを持つ子どもや保護者へ提供します。	障がい児向け図書の提供	10冊	64冊	△	準備中 (写真④)	
		5 中央図書館からやや離れた地区に住む子どもたちへの読書環境づくり		中央図書館からやや離れた地区に住む子どもの読書環境を向上させるために、団体貸出の拠点数を増やします。	中央図書館から団体貸出する拠点の数	13箇所	12箇所	△	計画どおり遂行している。(92%)	
	2 児童館の読書環境の整備・充実	1 児童館利用者への本の紹介	○	児童館に来館する子どもから保護者までを対象に、おすすめ本のブックリストなどを作成し、情報提供します。	年齢別ブックリストの配置	小学生向け作成	済	○	目標達成	
		2 児童館図書室の環境整備		児童館図書室の本の配置やレイアウトの調整、新規に購入する本や除籍本の選定に中央図書館が協力をします。また、司書が選定した本を中央図書館から団体貸出(児童館)をすることで、図書室の魅力を高めます。	本の配置などの点検・調整(年間)	各館と調整	全6館で実施済	○	目標達成	
	3 保育園・幼稚園の読書環境の整備・充実	1 園内の図書コーナーの整備	○	園の図書コーナーを充実するため、年齢に応じたおすすめ本のブックリストの提供や読み聞かせに適した絵本や地域の民話などを中央図書館から紹介します。司書が図書コーナーづくりや絵本の選定に関するアドバイスをすることで、園の職員を支援します。	選書の意見交換と支援の年間実施園数(全7園)	1園	モデル園(1園)	○	長秋東保育園をモデル園として決定	
		2 団体貸出登録		中央図書館の団体貸出カードを発行し、全ての園で活用するように周知し団体貸出を促します。	市内全ての園の団体登録数(全19園)	10園	6園	△	新たに1月になってから、市内の4公立保育園から新規作成の申込があった。	
	4 学校図書館と中央図書館の連携体制の強化・充実	1 学校図書館の環境整備		学校図書館の本の配置やレイアウトの調整、本の選定に中央図書館が協力し、環境整備を図ることで、学校図書館が子どもにとって魅力的な居場所となるよう雰囲気づくりを支援、アドバイスします。	学校図書館へ週4回訪問する学校数(小学校6校) 学校図書館へ週4回訪問する学校数(中学校3校)	1人増員の予算要求事務	H31年度予算要求している。	○	査定待ち	
		2 中央図書館資料の学校への提供		中央図書館から学級文庫用として団体貸出(学校)をする冊数を増やすことで、良質な本を子どもの身近な場所へ提供し、子どもの読書環境を充実させます。	団体貸出(学校)の冊数(年間)	11,400冊	9,405冊	△	計画どおり遂行している。(82.5%)	
		3 学校連携司書による中央図書館の行事企画		学校連携司書が中央図書館で読み聞かせやブックトークなどのイベントを継続して開催することで、保護者を含めた幅広い年齢層へ読書の楽しさを伝えます。	中央図書館でのイベント参加者数(年間)	140人	148人	○	目標達成 (105%写真⑤)	
		4 学校図書館と中央図書館の情報共有	○	学校連携司書が学校現場での実践を活かし、中央図書館利用者へ向けにおすすめの本をホームページで紹介し、学校と中央図書館の司書が互いに本の情報を共有し、選書などに役立てます。	学校連携司書が薦める本をホームページで紹介する冊数(年間)	4冊	未	△	平成30年度末までに作成予定	
	基本目標2 子どもの読書環境の整備・充実(本の見やすさ、対象別に強化)の達成割合 ○:目標達成・・・6個(46%) △:達成見込みあり・・・7個(54%) ×:未達成・・・0個									

基本目標	重点施策	取組	新規取組	内容	指標	平成30年度 目標値	実績(H30.12月末)	達成度	評価内容
3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及(広く周知し、興味を集める)	1 普及活動の充実	1 読書手帳の普及		読書履歴を残すことで、楽しみながら読書意欲を高めるため、読書手帳の普及に努めます。	読書手帳の窓口配布数(年間)	170枚	150枚	△	計画どおり遂行している。(88%)
					読書手帳の完了スタンプ数(年間)	50個	134個	○	目標達成 (268%)
		2 「子ども読書の日」などの普及		「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」などに合わせて読書に関するイベントや企画展示を開催し、参加者増加を目指します。	「子ども読書の日」いちにおはなし会参加者数(年間)	140人	247人	○	目標達成 (176% 写真⑥)
		3 保護者への周知	○	中央図書館を始めとした各施設での読書活動の取組事例を保護者へ広く周知し、子どもの読書の機会を増やします。	中央図書館のホームページで各施設で行われている読書活動を紹介	5件	2件	×	1 長久手高校POP展(対象:高校生) ⇒中央図書館HP「中高生向けページ」掲載 2 文化の家コラボテーマ展示 テーマ:キッズシネマ/対象:小学生 ⇒中央図書館及び文化の家HPでリンク掲載
	4 各施設で読み聞かせイベントなどの実施		中央図書館内外での読み聞かせイベントなどを通し、読書の大切さを広めるよう広報に努めます。	おはなし会などの読み聞かせイベント参加者数(年間)	3,900人	2,042人	×	目標値の52%であるため、周知方法、開催方法など含め今後の課題としたい。	
	2 各種情報の収集・提供	1 図書情報などの収集・提供	○	子どもの読書活動に関連するニュースを提供することで、子どもの読書活動を幅広く推進します。	閲覧室等へ随時、子ども読書に関わる情報を掲示する件数(年間)	1件	1件	○	ブックスタート会報誌の情報を児童閲覧室内掲示板で掲示
	3 優れた取組の紹介	1 図書ボランティアなどの活動を紹介	○	図書ボランティアなどの活動を紹介、奨励することで図書ボランティア活動の活性化、生きがいづくりにつなげます。	中央図書館のホームページで図書ボランティアの活動状況を掲載	1種	着手	×	全ボランティア団体へ活動状況の原稿を依頼中。

基本目標3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及(広く周知し、興味を集める。)の達成割合 ○:目標達成・・・3個(43%) △:達成見込あり・・・1個(14%) ×:未達成・・・3個(43%)

平成30年度子ども読書活動推進計画 達成度合計 ○:目標達成・・・18個(46%) △:達成見込あり・・・14個(36%) ×:未達成・・・7個(18%)

平成30年度子ども読書活動推進計画 進捗状況一覧写真

① 1-2-3

北玄関 テーマ展示例

テーマ：クリスマスの本

展示期間：平成30年10月24日

～12月24日

展示冊数：約200冊



② 1-3-1

児童館団体貸出の入替等の例

対象館：下山児童館

作業日：平成30年10月26日

作業内容：団体貸出本の入替え、書架の整理、ポスター貼り替え、「ちゅうおうとしょかんからのおすすめ本」表示等

団体貸出：200冊



③ 2-1-2

中高生向けの棚

毎週新着本を提示

市内高等学校の図書館だより

や新着情報を掲示



④ 2-1-4

点字絵本・さわる絵本

障がい児向図書として、点字絵本、さわる絵本を収集し障がい者の方への貸出しを検討します。

■点字絵本

「点字絵本」とは、文章を点訳し、絵に凹凸を付けた絵本のことで、手に触れる感触で楽しめるよう工夫した本。



←中央に点字のテプラを施している。

■さわる絵本

「さわる絵本」とは、布や皮革、毛糸などを用いて、絵の部分を立体的に貼り付けることで、手の感触で体験することができる絵本。



← 動物の毛の感触が疑似体験できる。

⑤ 2-4-3

学校連携司書による中央図書館でのイベント

「なつやすみ図書館たんけん隊」

日時：平成30年8月1日

10:00～11:00、15:00～16:00

内容：夏休みに子どもたちが、普段見ることができない図書館のバックヤード等8カ所を探検した。最後に自分が借りたい本をみつけて、自分で貸出し処理を体験した。

参加者：午前の部 9人、午後の部 10人（各定員10名）



⑥ 3-1-2
「子ども読書の日」
いちにちおはなし会

開催日：平成30年4月21日

開催内容：「子ども読書の日」にちなみ、ボランティアグループ、図書館・学校連携嘱託員によるおはなし会を終日開催した。

参加者：247人



平成31年度事業概要

1 会議

- (1) 図書館運営協議会 年2回(5月、2月予定)
- (2) 学校司書職員連携会議 年1回(7月)
- (3) めりーらいん会議 年3回予定

2 図書業務

- (1) 収集、整理、保存、貸出
 - ア 図書資料等の収集、整理、保存、貸出
 - イ 視聴覚資料の収集、整理、保存、貸出
 - ウ 地域資料の収集、整理、保存
- (2) 蔵書管理
 - ア 図書の選書、発注、受入
 - イ 蔵書データの整備
 - ウ 図書の整理及び補修
 - エ 寄贈図書の受入
 - オ 除籍図書及び寄贈図書のリサイクル リサイクル市 年1回
 - カ 未返却図書の督促 週1回
 - キ 蔵書点検 年1回
- (3) 児童サービス
- (4) 中高生向けサービス (高校図書館との連携)
- (5) 障がい者サービス (点訳絵本作成ボランティアとの連携)
- (6) レファレンスサービス
- (7) リクエストサービス
- (8) 複写サービス
- (9) 団体貸出 (保育園・幼稚園など利用対象の増加)
- (10) 図書館間の相互貸借

3 資料収集計画

- (1) 中央図書館購入内訳

一般書	5,700 冊
児童書	3,300 冊
参考図書	200 冊

郷土資料	200 冊
紙芝居	50 組
中高生向図書	150 冊
	計 9,600 冊

- (2) 学校連携及び児童館連携用購入
児童書 計 1,300 冊

書籍合計 10,900 冊

- (3) AV資料購入内訳
- | | |
|---------------|--------------|
| DVD | 40 点 |
| C D | 60 点 |
| AV資料合計 | 100 点 |

- (4) 雑 誌 107 誌

※平成25年度から雑誌スポンサー制度を導入

平成30年12月現在 11事業者、19誌、スポンサー請負金額約 20 万円

- (5) 新 聞 12 紙

4 子ども読書活動推進計画

第2次長久手市子ども読書活動推進計画 平成30年度から平成34年度までの5年間
(主要な取組)

- (1) ブックスタート事業
- (2) 中央図書館の読書環境づくり
- (3) 学校連携事業
- (4) 児童館連携事業
- (5) 保育園・幼稚園の読書環境づくり (新規)

5 行事

- | | |
|----------------------------|------|
| (1) おはなし会(図書ボランティア等による) | 年60回 |
| (2) 展示会(美術) | 年2回 |
| (3) 講座(修理等) | 年1回 |
| (4) 館内企画展示(他課とのコラボレーション企画) | 随時 |

6 図書ボランティアとの連携

- (1) 読み聞かせ

- (2) 図書資料の修理、装備
- (3) 図書資料の返却、書架整理
- (4) 交流会

7 見学・職場体験・実習生

- (1) 小学生の図書館見学 各校年1回(3年生)
- (2) 夏休み図書館探検 図書館にて2回(小学生対象)
- (3) 中学生の職場体験 各校年1回(2年生)
- (4) 大学生司書課程図書館実習 年1回
- (5) 小中学校教職員研修 夏休み

8 広報

- (1) 利用案内、図書館カレンダー等の作成、配布
- (2) 新刊リストの発行
- (3) 市及び図書館ホームページへの掲載
- (4) 市広報紙への掲載

9 その他

- (1) 学級文庫入替 3月
- (2) 蔵書点検 10月
- (3) システム更新(保守・端末) 10月
- (4) 非常用放送設備改修工事 6月

